

## I. 2023年1-3月第4四半期のショートアプローチの紹介

2022年7月より皆様と情報を共有している「メタ研ショートアプローチ」の2023年1月～3月の発行分は、下表のとおりLME、ベースメタル、レアメタル、SDGs、自動車、リサイクルの10件になりました。

メタ研のWeb会員サイトに閲覧コーナーを設けておりますので、会員の方はぜひご覧ください。今後も引き続きショートアプローチコーナーに掲載した記事の表題はメタ研通信でお伝えしますのでご確認ください。

### 1月13日から3月29日までのショートアプローチ

No	タイトル等		カテゴリー
30	電気自動車と材料(2) -コスト-		自動車
	2023年1月13日	2030年より前にはEVのコストが従来車種と同等になり普及が加速するとのコンサルタントの見通しについて分析・検証を行う。	
31	中国のリサイクル亜鉛の状況		ベースメタル
	2023年1月19日	天然資源のリサイクル原料利用率を向上させることが課題となる中で、世界の亜鉛市場のトップシェアを占める中国の状況について報告する。	
32	循環型産業の高度化(4)～110年超を都心の創業地で迎える故銅問屋が鉄リサイクラーと共業する廃プラ再生事業～		リサイクル
	2023年1月26日	JR大塚駅近くに本社と非鉄スクラップヤードを持つ明治44年創業の中堅故銅問屋である株式会社井戸商店が廃プラスチック・樹脂リサイクル事業に進出している。同社の鉄、銅、プラスチック3素材が結合した再生事業の現状を紹介する。	
33	ハフニウムのお話		レアメタル
	2023年2月14日	金属アレルギーを起こさない結婚指輪の材料として、レアメタルの一つであるハフニウムが人気を博している。ハフニウムの特徴と最近需給がひっ迫し価格が急騰している背景についてレポートする。	

34	<b>資源の超先物相場</b>		LME
	2023年2月17日	2か月もしくは3か月くらい先の月や期日を中心とした一般的な先物の売買に対して、資源関連では最長10年先を期日とした超先物相場がある。今回はその特徴について解説する。	
35	<b>水銀について</b>		SDGs
	2023年2月22日	水銀についてはいくつかの条約に基づき、国際的に厳格な取り組みが行われている。昨年国連でまとめられた水銀対策の優良事例を紹介するとともに、途上国を中心とした水銀問題の現状についてレポートする。	
36	<b>取引所産業と Greed（強欲）</b>		LME
	2023年3月1日	執筆者の証券会社勤務時代の経験に基づき、取引所業界における過去の米国を中心とした問題事例を Greed（強欲）という観点から解説するとともに、ニッケル問題で信用失墜した LME の今後がその Greed の渦に翻弄されつつある状況をレポートする。	
37	<b>ニッケル資源市場の現状とインドネシアによる資源の囲い込み</b>		レアメタル
	2023年3月8日	ロシアによるウクライナ侵攻を受けて、電気自動車用電池材料に関心が集まる中、ニッケルの市場動向と、近年生産を急速に伸ばしているインドネシアの動向をレポートする。	
38	<b>亜鉛系二次電池の実用化の状況</b>		ベースメタル
	2023年3月13日	再生可能エネルギーによる発電を進めていく上で安定性の観点から重要な蓄電池の中で、リチウムイオン電池に次の世代として期待されている亜鉛系二次電池の開発状況等についてレポートする。	
39	<b>電気自動車と材料(3) -サプライチェーン-</b>		自動車
	2023年3月29日	サプライチェーンを考える上で根幹となる需要予測に関連して、中国リスクや EU の最近の動向、資源リスク等について考察するとともに、本件に関する資源会社の役割等についてレポートする。	